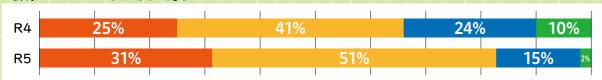
アンケート結果

自分にはよいところがあると思う



・道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる



・自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じることがある



生徒のワークシー

1年生 「富士山から変えていく」 【社会参画、公共の精神】

結集の力はすごいと思いました。みんなが力を合わせることで、 掃除もはやく終わったり、結長の時間も、も、と短くすることが、自己を見つめ、 できるのではないのかな、と思いました。1人1人の意識で、た くさんり、大きなものまで、変えられるのか、すごいな、と思います。

3年生2学期 道徳の授業を振り返って

臓器ドナーや命の大切はなど、2学期は自分や同りの人の 命の大切さにつけて考えることが多かった。そうけう話は 今の自分を見つめ直すことが"で"きるので、こういう機 会は大切で、もっと増せしていけたらいいと思った。

明らかにし、

人間としての 生き方についての 考えを深める

2年生 「ネット将棋」【自主、自律、自由と責任】

まあまあそう思う

思わない

あまり思わない

<振り返り> 「勝負」というものは組手状いないとできないため、その人 く敬意を払うのは大切だと思。た。「負けました」という言葉 は、自分が本気で勝負に挑んでいた証拠と分かったのでこれ からは勝ちも負けも認めて次に生みすということをしたいと思。 た、負けの経験をしないと次に生きてくることもないので自分が成 長なためにも負けたことも受け入れたい、

3年生2学期 道徳の授業を振り返って

自分と違った発想の人もいたので楽しかったし、いるい 自分の性格が行動を見直すき。かけになった。 3学期もいるいるな発見をしていきたいです。

成果と課題

【成果】

- ●道徳教育を中心にして学校研究や校内研修を進めることで、学年内や分掌内だけではなく学年や分掌を越え て共通理解がなされ、学校全体でより組織的に授業づくりに臨むことができるようになった。
- ●生徒が自分の考えや気持ちを安心して発言し聞き合えるような集団の形成に向けた取組について、分掌を越え て話し合い、企画して共通実践することができた。
- ●「道徳の授業づくりの重点」を設定し共通理解を図ることで、授業の質を高めることができ、ねらいに沿って 生徒が学びを深める姿が見られた。

【課題】

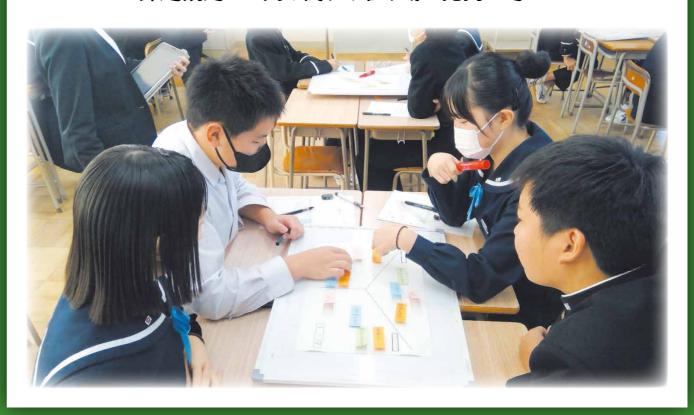
- ●全教育活動において道徳教育がより一層意識され、推進されるようなカリキュラム・マネジメントの充実を図る 必要がある。
- ●家庭や地域との関わりをもたせた道徳の授業を構築していく必要がある。
- ●道徳教育での指導方法が他の教科での授業づくりにも活かされるような研究計画や研究体制を構築していく 必要がある。

令和5年度 石川県教育委員会指定 いしかわ道徳教育推進事業 令和5·6年度 小松市教育委員会指定 道徳教育推進事業

研究主題

「深い学び」を目指して 組織的に取り組む授業づくり

~課題設定の工夫や関わり合う場の充実を通して~



組織的な取組の 充実

道徳の授業づくりの 充実

集団づくりの 充実

令和 6 年 1 月 16 日火 小松市立芦城中学校

重点

○主題名「_本当の思いやり_.

拡散と収束を意識した 発問づくり

- ・中心発問から考えを多面的に引き出し、拡散させる
- ・拡散した考えは多角的な補助発問で収束に向かわせる

自己を見つめ、明らかにし、 人間としての生き方についての 考えを深める

ICTの活用 重点



見えないところ やさしさ 中学生 気持ち 名乗り出なかったため 感動 憧れ 良い人たち 声をかけなかったふがいなさ

上:「メンチメーター」で現状把握

左:「心の数直線」で 自己を見つめさせる

右:「ホワイトボード」で 意見の可視化・共有化



心のたから木 自治的成果



ねらい→振り返り→

=逆算思考

授業構想シートを

用いた話し合い

(補助発問> ○あなたが高齢者ならば、一番座りやすいのは?

考え、議論する

重点 学習形態の工夫





組織的な取組

企画調整会議/研究部

- ・方向性の提案、決定
- ・見通しや役割分担の明確化
- ・分掌間の連携の確認、取組の円滑な推進

発問→導入→板書

校内研修会/要請訪問

- ・道徳の授業づくり
- ・教科の授業づくり

教科部会

・テーマの明確化

・PDCA サイクル



声城中学校学校研究だより

8月の職員会議で教務部から全国学力・学習状况調査の結果と本校の課題が示されました。それぞれの教科 においての機能はありますが、土地にて明らかになった課題は1的間文から文章を終み取って設明したり表現 したりする力、②複数の資料を開塞付け、考察する力です。今までより意図的・計画的に指導していく必要が ありますし、10 月の中間テストの中に上記の力がついたかとうかを測る問題を最近1つずつ作成していただ きたいです。そのために実好接金(国社教理等)をもち、どのような問題にするか越し合っていただけないで しょうか。できれば 20 日(金)までに話し合っていただき。駅につけさせたい力の共通理解をはかるととも に、今後の授業において共通実践につなけていただきたいと思っています。



研究だよりで 共通理解

つながりをつくり 関係を向上 生徒発信による

実施

団づくり

アシトーーク

・1日10分

クラス内でのつながり

生徒指導部⇔研究部⇔生徒会

ゲーム要素を含めた内容のアシトーーク

アシトーークの目的を意識して

生徒会活動

- ・縦割り活動
- ・リーダー育成



心のテーマ

- ・11月…お互いの良いところを見つけよう
- ・12月…思いやりの心を大切にして行動しよう



毎月設定 集会の中で 全校で共有

自分では気がくことができないような、自分のよこを知ること ができた、うれしい、人也の人のいいところをさがわもたのしか、た。

(発問と ICT の活用)

1. 教科部会のお願い(国・社・数・理・英)